

第1学年 英語科 シラバス（学習の進め方）

名張市立 桔梗が丘中学校

1. 英語科の目標

- 英語学習を通して、外国や自国の言語や文化に対する理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育てる。
- 国際語としての英語を学びながら、聞くこと、話すこと、読むこと、書くことなどのコミュニケーション能力の基礎を養う。

2. 身につけたい力

Listening(聞くこと)	<ul style="list-style-type: none"> ○好きなことや日常的にしていることについての短いスピーチなどを聞いて、主な内容を聞き取ることができる。 ○身近な人や有名人について、対話やスピーチなどを聞いて、主な内容を聞き取ることができる。 ○体験したことやその感想などについてクラスメートのスピーチなどを聞いて、お主な内容を聞き取ることができる。
Reading(読むこと)	<ul style="list-style-type: none"> ○好きなことや日常的にしていることについて書かれた自己紹介ポスターなどを読んで、主な内容を読み取ることができる。 ○有名人や身近な話題についての紹介文などを読んで、主な内容を読み取ることができる。 ○物語や体験談などのつながりのある文章を読んで、主な内容を読み取ることができる。
Speaking(話すこと)	
●Interaction (やりとり)	<ul style="list-style-type: none"> ○自分が好きなことや日常的にしていることについて、即興でたずねたり答えたりすることができる。 ○身近な人や有名人についてたずねたり答えたりすることができる。 ○自分やクラスメートが体験したことやその感想について、たずねたり答えたりすることができる。
●Production (発表)	<ul style="list-style-type: none"> ○自分が好きなことや日常的にしていることについて、即興で発表することができる。 ○身近な人や有名人について、発表することができる。 ○自分が体験したことやその感想などについて、発表することができる。
Writing(書くこと)	<ul style="list-style-type: none"> ○自分が好きなことや日常的にしていることについて、つながりのある文章を書くことができる。 ○身近な人や有名人について、つながりのある文章を書くことができる。 ○自分が体験したことやその感想などについて、つながりのある文章を書くことができる。

3. 学習内容

1学期	<ul style="list-style-type: none"> • be動詞の現在形(is/am/are) • 一般動詞(like/play/have) • 助動詞(can) • 名詞の複数形 • 命令文 • 疑問詞(what/who/which/where/whose/when/how)
2学期	<ul style="list-style-type: none"> • 三人称単数現在形 • 人称代名詞 • 現在進行形
3学期	<ul style="list-style-type: none"> • 一般動詞の過去形 • 過去進行形 • There is[are] ~の構文

4. 使用教材（毎日の授業に必要なもの）

教科書	NEW HORIZEN English Course 1（東京書籍）
補助教材	新英語のワーク（明治図書） E-NAVI（秀学社） Let's Enjoy Bingo.（浜島書店）
ノート	英語ベストノートW前期・後期（学宝社） 練習用ノート（1冊目は学校で準備します）
ファイル	S:ワークシートをとじるための黄色のA4ファイル E:ワークシートを閉じるためのロイヤルブルーのB5ファイル

※プリントをはる小さい「のり」も筆箱に準備しておきましょう。

今は「英語は話せて当たり前」というようなことをあちこちで見聞きして、とてもプレッシャーになってしまっている人もいるかもしれません。小学校の外国語の授業が苦手だと思っていた人もいるかもしれません。でも、まず言うておきます。「英語ができなければ人生おしまい」というほどのことはありません。

でも、英語の必要性が高まっているのは確かです。なぜなら、人は支えあって生きているから。地球上のいろいろな人たちと支えあって生きていくうえで必要になってくるのがコミュニケーション。そう、「言葉」です。日本人同士だと困りませんが、これほどまでに外国への行き来が盛んな現代は日本人以外の人たちと出会うこともたくさんあります。そんなときは相手を知り、自分を伝えなくてははいけません。情報通信技術や高速移動手段等が発達し、「ボーダレス社会」や「グローバル社会」と言われる現代社会においては、特に、「言葉」が大切になってきます。日本だけでなく、グローバルの視点から私たちが住む地球を考えていくことが大切です。そこで国際語として「英語」の登場です。文化も違う人たちと出会ったり、情報等に触れたりし、共感したりすることは、素敵なことです。また、今までと違った視点から、普段の生活を見ると、新しい発見ができます。英語等の外国語を学ぶ目的はそこにあります。英語を学ぶことで、みなさんにとって、新しい世界への扉を開くきっかけとなればと考えています。



5. 評価の観点と評価の方法

	評価の観点	評価の方法
① 知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> 英語に関する基礎的な知識(単語・語句・文法など)を理解し、適切な使い方ができる。 会話文や説明文などの英語の情報を目的に応じて正しく読み取ることができる。 まとまった英文を読み、それに関する質問に答えることができる。 正しい発音や自然な速さで話されたり読まれたりする英語を聞いて、具体的な内容や大切な部分を聞き取ることができる。 	<p>【定期テスト・単語テストなど】</p> <ul style="list-style-type: none"> 学んだ文法事項について理解している。 英文を聞き取り、その内容を正しく聞き取ることができる。 英単語の意味やつづりが正確に書ける。
② 思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> 自分の考えや気持ちが相手に正しく伝わるように話したり、書いたりすることができる。 聞いたり、読んだりしたものについて、意見を言うことができる。 	<p>【授業中の様子・課題など】</p> <ul style="list-style-type: none"> 与えられたテーマ、文法事項を用いて正確な英語表現ができる。 左記の評価項目にあるような点に気をつけて、発音したり、対話したりすることができる。 <p>【定期テスト・音読/パフォーマンステストなど】</p> <ul style="list-style-type: none"> 場面に応じて、適切な表現を話したり、書いたりすることができる。 英文を読み、内容を理解し、それに関する質問に答えることができる。 左記の評価項目にあるような点に気をつけて、英文を聞きとったり、読みとったりすることができるか。
③ 主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> 積極的にコミュニケーションを図ろうと努力している。 話し手に聞き返すなどして内容を理解しようとしている。 発表、学び合い学習、ノート作りなどを行っている。 言語とその背景にある文化について理解している。 	<p>【授業中の発言・態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 授業内容を集中してよく聞き、自分の思いや考えを発言しようと意欲的である。 コミュニケーション活動への取り組み(発音練習やペア、グループでのコミュニケーション活動)に積極的に取り組める。 与えられた例をもとに、さらに自分なりの追及や発展をした表現方法・表現内容に挑もうとしている。 家庭学習課題や提出物、準備物が確実であり、今学習していることは何であるかを意識して授業に臨んでいる。 教科書の題材内容や背景、または海外のことに好奇心や興味を持って学習に臨んでいる。

6. 学習方法についてのアドバイス

<授業>

1. ペア、グループワークに積極的に参加しよう。
習った英語表現を定着させるために、時間を有効に使い、繰り返し練習しよう。
2. 英語は積み重ねの教科なので、わからないことをそのままにしない努力をしよう。
授業の中で理解できないことがあったら、その場で先生やなかまに質問しよう。
ALTの先生に積極的に話しかけてみよう。

<家庭学習>

1. 予習・復習をしっかりとやろう。
 - 予習として、単語の意味調べを確実にして授業に臨もう。
 - 授業で習ったところはその日のうちにノートやワークで確認し、繰り返し復習しよう。
テストで間違えた問題は、次回のテストにむけて復習しておこう。
 - A) 単語や本文の英語の練習は、必ず発音し、意味を考えながら書くようにしよう。
 - B) 既習の単語リスト、本文プリントを活用し、何度も繰り返し音読練習しよう。
 - C) 学習した文法事項を定着させるために、ワーク(問題集)を使い繰り返し練習しよう。
2. 映画や洋楽、テレビやインターネットの英語番組を通して、生の英語に触れる機会を作ろう。